

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係るまちづくり懇談会		
開催日時	令和4年5月16日（月） 19時00分～21時00分		
開催場所	サニープレイス座間多目的室		
出席者	<p>【市】</p> <p>佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長、山本環境経済部長、白井健康部長、中島福祉部長、内田子ども未来部長、野口都市部長、安藤教育部長、原上下水道局長</p> <p>【参加者】</p> <p>市民等 21人</p>		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	第五次座間市総合計画の素案作成に対する意見交換		
資料の名称	まちづくり懇談会 第五次座間市総合計画（ざま未来プラン）における政策・施策について		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 資料に関する概要説明

別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

ありがとうございます。説明が終わりましたので、これより、意見交換に移ります。意見交換ですけれども、今説明がありました1から7の政策ごとに行います。1政策につき概ね10分程度とし、最後に総括的な意見交換の時間を設けたいと思います。なお、御意見のある方は挙手していただき、私が指名した後にマイクをお渡ししますので、マイクを通じて御発言をお願いします。時間に限りがありますので、できるだけ簡潔に御意見・御質問いただければと思います。

それでは、まず、政策1「共に学び、健やかに育つまちづくり」について御意見のある方は、挙手をお願いします。

【コンサルタント】

いかがでしょうか。こちらは子育て支援・保育・教育などに関する政策です。特にありませんか。あの、1番最後に、全体的な意見をいただきます。意見がある方は挙手をお願いします。よろしいでしょうか。質問でも結構です。

【参加者】

去年の9月に転入したばかりなので、市の事情をあまりよく知らないのですが、ちょっと伺う内容が的外れていたら申し訳ないのですが、先程、待機児童がワーストと言っていたのですが、これは、理由は何なのでしょう。

【コンサルタント】

では市長、よろしくをお願いします。

【市長】

本市では、今、公立保育園の一部で民営化を進めている状況があります。その中で、実はちょっと事情がありまして、元々民営化をして、民間保育園を建てようとしていた中で問題がありまして、計画どおりに民営化が進んでいかなかったという状況があります。それが、やっと進み始めたというところもありまして、民営化をすることで柔軟に受け入れが可能になるということがあります。あとは、小規模保育で行っていくという方向性もあったのですが、それが国の動向などでなかなか新規で認めら

れなくなってきたということもありまして、そういった複合的な事情で、計画的に進めてこられなかった状況があります。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。

【参加者】

それを解消する方向で新しく策定するということですね。

【市長】

今、改めてというか、新規で保育園の民営化も含めて、保育園の計画を、答申をした形で策定をしましたので、そういったものに従って整備を進めていく考えです。公立保育園の民営化が進められると柔軟な対応が進められると考えています。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。その他の御意見、ありませんか。政策1について。特にないようでしたら、次の政策に移ります。また、最後に全体的な御質問をお受けします。

では次に、政策の2「地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり」です。こちらについて御意見のある方、挙手をお願いします。では、前の方にマイクをお願いします。

【参加者】

座間市に住んでからは50年になるので、失礼にはなりますが、実際に東京のほうに通ったりいろいろしていたのですが、昔であれば本当に座間の特産というと、座間芋掘りというようなのがあって、例えば芋掘りもあったのですが、今後、例えば具体的に何を特産品として売っていこうと、座間のブランドを作っていこうというのは、何かお考えがありますか。

【コンサルタント】

では、お答えをよろしくをお願いします。

【市長】

御質問頂きましてありがとうございます。現状でも特産品は随時認定をしているところですが、そういったもの、また本年度から、ふるさと納税の返礼品も開始しますので、そういったところで御応募いただいたものなども特産品になると考えています。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。では他に御質問のある方、政策2について御意見ありますか。挙手をお願いします。そちらの方、お願いします。

【参加者】

こんばんは。ざま災害ボランティアネットワークの〇〇と申します。協働事業というのが座間にあるのですが、この協働事業は育っていかない。結局、受けた団体は手元に何も残らない、苦勞したけど残らない、職員は余計な仕事が増える、そういう向きで、協働事業はなかなかうまくいかない。この辺をどう乗り越えていくのか。やはり活動した分、残らないと、その団体自身がやはり摩耗していってしまう。ということで、私たちも14年かけて、ようやくNPOになれると。こんなところは、神奈川県ではちょっとないわけですね。というのは、持ち出しで、個人負担で何とかやっている、この辺をやはり抜本的に変えないと、市長が市議時代にはそれを鋭く質問されていたわけです。だけど、市長になった途端に、やはり削減、削減という方向がちらほら見えてくる。それでも、私たちはやはり市をお手伝いすると。市民に何かあった時、どうやって役に立てるか、というスタンスで団体を運営しています。だけど、やはりそれに対する助成も補助も薄い。私はこの協働事業を立ち上げる一番最初から携わっていますので、〇〇さんの考え方、それから〇〇さんの考え方というものをよく理解しているつもりです。ですから、ここをどう乗り越えていくのか、お答えいただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。協働事業について、お願いします。

【市長】

御意見頂きましてありがとうございます。協働事業からは何も残っていかないという御指摘だと思います。私も大変課題を感じています。そのような中で、市民活動サポートセンターがあり、そしてまた、これはこちらの社会福祉協議会が行っているボランティアセンターもございます。そういった様々な市民活動でも、いろいろな切り口でそれをサポートする拠点があります。そういったものを、いかに有効的に機能させていくかということは、一つ課題だと感じています。また、ボランティア団体の高齢化が進んでいるということも、大変課題だと思っています。ですが、若い方たちもボランティアに参加されたいというお気持ちは伝わることでもありますので、そこをどのようにつないでいくかということも一つあると思っています。切り口を少し変えたり、広報の仕方を工夫したりということは、工夫のしようがあると思っています。いずれにしても、冒頭で申し上げましたが、これから行政運営は、行政だけでこの複雑多様化している市民ニーズに添えていくのは、なかなか難しいと感じていますので、皆さんが望まれるきめ細やかなサービスにしていくには、やはり民間の皆さんのお力や、団体の皆さんのお力をお借りしながら、共に創り

上げていくという方法で行っていくことがよろしいと考えています。そういう方向性で進めていきたいと考えていますので、それを今後話し合いを進めながら、今の課題を抽出して改善をしていくという考えです。以上です。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。では他に御意見ある方、挙手をお願いします。では、こちらの前から2人目の方です。

【参加者】

こちらでの歴史が浅いので、的外れな意見になったら大変申し訳ないのと、今、長年ボランティア活動などをされた方の御発言があって、そういったこととはまたちょっと外れた意見なので、的外れだったら申し訳ないのですが、今日、こういう催しがあると伺って、座間の魅力というのは何だろうな、ということ考えたのですけれども、坂ではないかなという気がして。あまりにもダイレクトな意見かもしれないですけれども、入谷の東に住んでいまして、座間のほうに下りていく道がたくさんあると思うのですけれども、散歩に出るとよくトレーニングウェアもしっかりしたトレイルランとかマラソンなどをしっかりやっぴらっしゃるような方々が、週末に上がってこられるのによく出くわすのです。私も日常的にお買い物をするだけで、1日1万歩とか、あるいは階段で言えば10回分とか、そのぐらいすぐ達成できるくらいの坂がたくさんあるというのを、私はとてもポジティブに受け取ってまして、例えばそういうトレイルランに興味のある方、谷戸山公園などでもよくそういった活動をされている方を見かけますし、そういうランニングに興味のある人口というのはたくさんいると思いますし、あと旅ランというのが旅をしながらランニングをするというような考え方もありますので、そういったところにアピールできるものがあれば、谷戸山だけではなくて、栗原のほうに下がっていても、一度下りたらもう上がってくるのが大変だという坂もたくさんあるのですけれども、そこをプラスに考えて、あと坂があるということは断層があるということですから、地学が好きな人たちにもう少しアピールできるように、ここにこういう断層があつてとか、こういう化石が出てくるとか、そういったプラスの面を掘り起こせるような何かがあつたら、例えばコースを作ってどなたかそのプロの方にコースを見ていただいて、そういったことを大学の陸上部にアピールするとか、あるいは大学陸上部の合宿所を作るとか、そんなことがあつたら面白いかなと思ったりしました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今の御意見、座間市の魅力化ということで、御意見頂きました。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございます。今、御意見いただいたとおり、座間の魅力の

一つとして坂があるというのは、私も思っていますし、また、まちづくり懇談会の中でもそのような御意見をいただいております、これまでも多くの市民の方々からそういった御意見もいただいております。市としても、例えば坂道ウォーキング、この坂道を生かしたウォーキングのコースを作っていますし、またボランティア活動ですと、ふるさとガイドの会というものもありまして、そういうコースを巡って座間の歴史を巡るようなことをされているところもあります。それから、今日も御出席いただいております、青年会議所という団体がありまして、こちらの皆さんは、毎年、このコロナ禍ですけれども、坂道マラソンというのを催していただいております。大変、坂道マラソンも人気が高い行事になっていまして、多くの方たちに市内外から御参加いただいているということもあります。そういったものを、さらに多くの市民の方々に知らせるような工夫をしたり、また御参加いただけるような工夫をしたりということは、大変重要だと思っています。貴重な御意見だと思っていますので、受け止めさせていただきたいと思います。御意見頂きましてありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。施策2について、今概ね10分ほど経過いたしました。ほかに御意見ありますか。もしありましたら、また最後に全体を通しての総括の時間がありますので、そちらで発言いただければと思います。

では次に、政策3「安全安心で環境にやさしいまちづくり」に移ります。こちらについて御意見ある方は、挙手をお願いします。では、こちらの方が早かったので、先に行きたいと思います。

【参加者】

〇〇と申します。ちょっと的外れかもしれないのですが、自治会の話なのですが、25年ぐらい前にこちらに転居してきて、自治会の世帯数がすごく多かったです。200世帯以上あって、それが今、31世帯という状況です。自治会解散という考えもちらつく中、ある方から、市とパイプをつないでおかないと、有事の際に支援とかを受けにくくなるよという、全く来ないということはないと思うのですが、それを聞いて、1世帯になろうとも粘って続けていこうという思いになりました。それが自治会としての最低限の意義かなと。本当は、親睦とかやりたいところなのですが、そう少なくなっていくと、盛り上がりがどんどんなくなって、こういう未来設計の中に乗れない状況になっています。深刻な状況で、それも本当に有事があった時に、自主防災でマンホールトイレを3機用意してあるのですが少なくなって、それをセッティングする、高齢化というのが最大の問題です。だからできないよと、役員なんかできないよということで、やめていく方も多くて。そこで実際にいる、残った世帯でやるしかないかな。もちろんやめられた方も使えるようにマンホールトイレとかをセットしていきたいのですが、実際に有事があった時に、市から登録した世帯数だけの物資が来るとかいうのではなくて、実際の世帯数で支援していただけるのかどうか、そこら辺を含めて、ちょっと的外れかも知れませんが、御質問です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。自治会の加入率が下がる中、災害時にどういう支援があるかという御質問かと思うのですが、よろしくをお願いします。

【市長】

御質問並びに御意見頂きましてありがとうございます。自治会の加入率の低下につきましては、大変深刻な課題だと認識しています。このまちづくり懇談会の中でも、各会場でやはり同様の御意見を頂いています。今、市内の自治会の加入率が50%を切ってしまうので、そこをどのように自治会を維持させていくのか、加入率を向上させていくのかというのが大変課題だと思っています。加入率の向上策としては、市自連など自治会の連合会があります。そちらの方々と、どのような支援ができるかということの前向きにこれからも話し合いを進めていきたいと思っています。

例えばですが、やはり今、自治会の役員の負担軽減として、例えばクラウドですとか、そういったものの技術の例えば支援をしていくとか、そのようなところを考えられるかなと思っているのですが、そういった辺りを具体的に市自連の方々と話し合いを進めていきながら、行政としてどういった支援ができるかということもこれからも考えていきたいと思っています。

その地域防災、自治会の加入率が低下すると何が困るかということ、御指摘いただいた地域防災の関係、それから地域福祉というところが特に手薄になっていく課題があると思っています。地域福祉も社会福祉協議会がありますが、社会福祉協議会が地域の全体的な地域福祉の向上に貢献していただいているわけですが、その自治会の加入率というリンクしている部分がありますので、その辺りも課題だと思っています。万が一、災害があった時にはどのようになるのかということですが、災害が起きた時に基本的には避難所にできる限り行かないように、各御自宅で1週間なり過ごしていただけるような備えをしていただくというのがまず基本だと思っていますので、そういった啓発を今後進めていきたいとは思っています。ただ、実際にもう住めるような状況でなく、危険があるような場合は、当然、避難所に避難してきていただくということになると思います。この避難所の人数がどれぐらいいるのかということで、その災害時の支援になると思いますので、そのような体制で行っていくと考えています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。よろしいでしょうか。それでは、政策3についてその他の御意見、質問など。では、黄色い上着の方。

【参加者】

根本的なことをお尋ねしたいのですが、地域防災計画というのがありますね。最近、国土強靱

化計画というものが出てきて、また五総が出てくる。だけどこの地域防災計画より、この五総は、座間市の本当の基盤計画だと思うのです。言ってみれば、国で言えば、防衛費と同じだと思うのです。この防衛費に当たるものを切り刻んでいくというのは、やはりおかしいと考えています。一昨年、国からお金が出て、かなりの備蓄、コロナ時の対応について備蓄は増えてきた。しかし、それに対応する職員の数が増えない。これは防災管理でも私、質問させていただいているのですが、前向きに検討します、というお答えをいただいたのですが、前向きに検討するというのは何もしないということは『悪魔の辞典』にも書いてありますので、あまり期待はしていなかったのですが、いずれにせよ、やはりコツコツ積み上げてきて、ようやくここまで来たわけです。ところがこの2年間で、危機管理課は総入れ替えだったのです。これはどう見ても、やはりこの計画の基盤計画になっていない。やはり基盤は、市民の安全と安心、財産の保護というものが災害の基本的な計画だろうと思うのです。私たちは在宅避難ということを進んで、あらゆるところで、おうち避難ということを進めています。まだ避難所運営委員会の未実施などところがあるわけですね。ここを相当働き掛けしているのですが、協働事業は終わってしまうと皆さんがいないので、我々も動きようがないわけです。市長も、かつてうちのメンバーであったとき、市内の小学校で、泊まりがけでずっと避難所の宿泊訓練をやっているわけですね。そういう経験があるにもかかわらず、職員を宿泊させる訓練がない。これは、労働組合との関係があっという難しいのでしょうか、では災害の時に労働組合がいろいろ言うのかとなると、これはとんでもないことで、その辺の位置付け、ベースに地域防災計画なりがあって、その上にこの五総なり、様々な計画が乗っかってこない、やはり足元が危うくなるのではないかと私は感じています。その辺についてお答えを願いたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。では、お願いします。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございます。まず、この第五次座間市総合計画は、冒頭も申し上げましたが、国土強靱化地域計画を埋め込んだ上で、この第五次座間市総合計画を策定していくという考えです。また、市民の安全安心がベースである、それは私もそのとおりだと思っていますので、今、頂きました御意見、真摯に受け止めて今後の対応をしていきたいと考えています。職員の数の関係ですが、御存知だとは思いますが、まずは職員の確保をしたいということで、定数の条例の増員の議案を上げさせていただきましたが、残念ながら議会で否決されました。それは、私の説明等が至らなかったと反省をしていますが、そういった事情もありますので、そこは御理解をいただければと思います。

また、本年度から危機管理課の体制も、当然これも御存知だと思いますが、課長ではなくて、これまで自衛官をしていた、退職された職員をまた採用させていただきましたが、課長職

となりますと事務等に追われる部分もありますので、その能力を遺憾なく発揮していただきたいということで、今のような体制を取らせていただいています。今後とも皆さま方に御協力をいただきながら、市民の皆さんの安全安心を守っていきたいと考えています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。ではその他、3についての御意見がなければ、こちらも10分を経過いたしましたので、次の政策に移ります。

次は政策4「健康に暮らせるまちづくり」、こちらについて御意見のある方は挙手をお願いします。では、そちら前の方。

【参加者】

〇〇と申します。この政策4について、私から座間市における文化行政に関わる質問をさせていただきたいと思っています。座間市には、端的に言って郷土資料館あるいは郷土博物館、こういった類のものはありませんし、その文化財に関わるものがないまちなのかといたら、そんなことは少しもないわけであります。しかしながら、発掘調査した出土品でありますとか、そういった物から古文書、そういう文化財に関わるもののコード体系もできてない。コード体系をする気がないような感じを受けています。私たちは、郷土資料館がないと生きていけないのかと言われてたら、そうではないということになってしまいますけれども、文化のない我々の生活があり得るのかという観点から、こういった提案をさせていただいています。

まず、三次総合計画も四次総合計画においても、ミュージアムの設置といったものに対しては言及されているのですけれども、行政の中では少しも進んでいないように感じています。第五次につきましては、必ずやこういったものを考慮に入れて、まず設置というところまで行きたい。これ7年計画なのですね、第五次の総合計画というのは。それでしたら、7年後には設置まで行きたいぐらいなのですから、まずは文化財を大切にコード体系化するとか、こういうところと言っていいかは分かりませんが、収蔵品は今、積み重なっている状態であります。このまちの収蔵品は。そういったところにまず手を付けていく行政を進めていただきたいと。それについては、政策4の「文化スポーツ」に関する行数、文字数が少ないなというところも、まずちょっとショックを受けまして、御質問させていただきました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。では、お願いします。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございます。今、お話がありましたが、郷土資料館、本市では以前は郷土資料館があったところ、老朽化しているということで取り壊しがなされ、その後、

前任の方々も郷土資料館を何とかしたいという思いがありましたが、なかなか財政的に厳しいということで、それが叶わなかった経過があります。

そんな中で、御存知のとおり、教育委員会で郷土資料館の検討委員会等がありまして、答申がまとまりました。その答申を受け、今後できる限り私もこの郷土座間を愛する気持ちを育てていくということは大変重要なことだと思っておりますし、御指摘いただいたとおり、文化財が今のようになっているということについては、本当にどうにかできないものかということを考えていますので、ここは何とかしていきたい、という思いが強くなります。

また、公共施設の再整備、小中学校がまだ方向性が出ていません。本来でしたら、公共施設の床面積半分以上、半分近く占めているのが小中学校ですので、そちらの方向性が出てこない、全体的な今後の財政負担ですとか、そういうところが見えてこない部分がありますので、そちらを本年度、来年度と早急に作らせていただき、そのような中で、何とか郷土資料館に関しましても進めていきたいという思いです。

座間の誇れる歴史、2万年から3万年前から、旧石器時代から人が住んでいたということ、そしてまた、その時代、時代で大変志の高い先人たちが築いてきた歴史を後生に引き継がなくてはならないと思っています。その精神をやはり私たちは引き継いでいく役割があると考えていますので、様々な工夫を凝らして、何とか郷土資料館設置に向けて努力をしていきたいと考えています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。よろしいでしょうか。それでは、もうお一方、どうぞ。

【参加者】

今、NHKの大河ドラマで「鎌倉殿の13人」というのをやっていて、鎌倉時代の話ですけども、座間市のことがあまり出てこない。出てこないのは当然かもしれませんが。でも関わりがあるということが、ちょっと一言だけ言わせていただきたいと思います。

星谷寺の釣り鐘を寄贈したのは誰か。佐々木信綱という武将です。この佐々木信綱は、北条義時の腹心のような家臣でありまして、その人は承久の乱という中で、兄、甥も敵に回して戦うような、そういうドラマチックなことをやった人ですけども、皆さんが大河ドラマを見ていて座間にもそういう関係があるのだ、というような見方をしてもらうためにも、こういう郷土資料館とか、ものがあることが望ましいな、と考えていますので、よろしくお願ひします。

【市長】

御意見頂きましてありがとうございます。以前、まちづくり懇談会で、例えばデータなどでまとめたものを見られるような形を取ったりですとか、建物ができなかったりしても、何かそういった工夫ができるのではないかと、といった御意見も頂いておりますので、そういったところも含め

て、本市の歴史を知ることができるような工夫をしていきたいと思っています。今、お話があったとおり、星谷寺の釣鐘のことなど、そういった貴重な日本の歴史がありますので、それをやはり皆さんに感じていただけるのが座間への郷土愛につながると考えています。貴重な御意見頂きましてありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございました。政策の4について、他に御意見ありますか。こちらよろしいでしょうか。また最後に総括の時間がありますので、では、政策の5に移ります。

こちらは「共に認め合い、支え合うまちづくり」というところです。これについて御意見ある方は挙手をお願いします。いかがでしょうか。様々な福祉であるとか、自立支援についての政策です。よろしいでしょうか。では、まだ先に政策がありますので、また思い出したことがありましたら、後ほど全体の時に御発言ください。

では政策の6に移ります。「緑あふれる快適なまちづくり」という項目について、御意見ある方は挙手をお願いします。そちらの前の方、よろしくをお願いします。

【参加者】

〇〇と申します。よろしくをお願いします。「緑あふれる」というところではなくて、道路の行政というところですが、座間市は非常に今、中継基地として、かなりトラックですとかそういったところの中継基地が建っています。昔から思うことは、その道路が鉄道で分断されてしまっているんで、そこでかなりアクセスが悪くなっているというところがあります。この辺りを是非織り込んでいただきたいなと思っている次第です。

例えば、先程の文化面というところもあるのですが、例えば、座間市のこの（ハーモニー）ホールだとかそういったところに来るのにも、かなり相武台前駅のほうから来る場合には、踏切で待たされるようなこともありますし、座間駅のところも座間駅の踏み切りで止まり、そしてすぐ進んだところ、こちらのほうから進んだところでまた車がブロックされるというようなところ、また星谷寺ですか、そちらのほうもあるというようなところなので、何かここをスムーズに通すようなところがないというのが一つあります。

もう一つは、この県央地区に関しまして、海老名市及び綾瀬市、厚木市その辺りが、自動車道路及び高速道路の入り口だとかその辺りが結構できています。座間は246が通っているのですが、それ以外のところがなかなか弱いのかなと思っています。地の利を作るためには、やはり道路をしっかりと政策的に考えていくことが必要かなと考える次第です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。道路に関する話で、一つは生活道路等の流通がなかなか渋滞であると

か踏切での交通分断があって使いづらいというお話。もう一つは、高規格の道路、高速道路等々へのアクセスができないかというようなその2点があったかと思います。よろしくをお願いします。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございます。御指摘いただいたとおり、大型施設倉庫が市内にだいぶ増えてきまして、様々なところで渋滞等が発生しています。本市としては、まず南林間線を何とか開通を、谷戸山公園のところから拡幅などを進めていくようにしていきたいと取り組んでいるところです。また、座間市総合都市交通計画や都市計画道路など、随時進められるところは進めていきたいという考えです。地権者の方のお考えなどもありますので、少し時間がかかるかもしれませんが、極力、渋滞等の解消に向けて進めていきたいと考えています。御意見頂きましてありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。では他に御意見ございますか。この政策の6のところですか。今あった道路の話とか、公園ですとか、都市計画などの項目ですが、他に御意見ありませんか。よろしいでしょうか。また何かあれば全体のところで御意見いただければと思います。

それでは、政策の7にいきます。施策の7「行財政運営」について、カラーの資料ですと10ページになります。こちらについて御意見、御要望など、御質問などありましたら。では、こちら1番目の方。

【参加者】

こんばんは。入谷東4丁目に足掛け35年住んでいます〇〇と申します。こういう会を催していただいて、市民からいろいろなお話を聴いて、御参考になさるのしょうけども、市報を読むと、今年度の一般会計が430億、アバウト430億です。そのうちほとんどが、民生費にかなり取られていましてね、高齢化していますから、民生費に取られて、半分以上民生費。それで、この構成比は、これから7年計画の中で、やはりいろいろお金が掛かると思うのですね。金がなければ何もできないのだから、お金は掛かるのだけども、この構成比はそんなに変わらないのではないかと。民生費が増えてくるかなという気もする。だけどこの7年の計画の色は何色にするの。例えば、市長が自由に使えるお金というのは、例えば毎年これから、500億、600億まではいかないだろうけど、7年後に一般会計が。今年度の予算の中で、430億の一般会計の中で、市長が思っていることで使えるのではないのではないか。0.1ぐらい。0.1といっても4,300万ぐらい。それより、もっと少ない。市長がいくら思っているも、もう指定席が全部決まってしまうのだから。500億、600億の予算、一般会計になったとしても、決まっている。だけど、色合いを出してこなければ仕方ないと思う。では、市長はこれからどういう色合いを、5カ年計画の中であなたの色は何色に、どういう形で出してくるのですか。そういうこと

をやはりやっていかなければいけないし、市長ばかりじゃなくて、今日はお偉方の部長さんがみんなおそろい、副市長もお出まし。こういう人たちも皆さん、市長にいろいろ御意見を出していると思う。神奈川新聞を読むと、ネットでも見られますけど、市長の動静で何々部長午前、誰々、誰々って毎日出ている。あれを僕も楽しみで見て、今日は子ども未来部長に会っているのだな、何の話をしているのだろうかとか、都市部長、この前のブリッジがどうなっているのかな、そんな話をしているのかなと思って。福祉の問題もそう。だけど、さし当たって今年度の予算を見ると、ちょっと市長の色が出てきたのは、さっきの返礼品の話。返礼品にでも使うお金が予算としては一般会計で2,500万ぐらい。借金してまでなんかやることない、地方債をして、これを大きく膨らまして、国ではないけど印刷すればどンドン国債発行すればと、座間はそんなことできないのだから。だから、この枠の中で少しでも色合いを持たせて、市民が喜ぶ、あなたの身内は800何人の市の職員、そして13万人余の市民があなたの後ろにいるのだから、色合いを出して、こんな色合いですよ、5カ年計画は、と。それは各部長、課長、優秀な係長とよく相談して、われわれの意見も入れて、素晴らしい計画を作ってもらいたい。突拍子なものではない。で、いろいろ仲間内だって好き嫌いがある。好きな人、部長の中でもちょっと肌が合わない人はいるかもしれない。でも、そういう人の意見もしっかり聴いて、すり寄ってくる人ばかりではなくて、ちょっと冷たいなと思っている人、僕は分からない、中まで入っていないから、そういう人ともじっくりあれして、こういう会議のためになる。俺は思うけども、市長の懇談会があるのだから、部長さんと市民との会合があつて、例えば都市部長とやろうではないか、福祉部長とやろうではないか、そういう会が僕は必要だと思うな。そういうことをやっていって、開かれた、それでしかも、いつもおっしゃっているように、明るくて楽しくて、ああ良かったなど。俺は35年ここに住んでいる。神戸で生まれて、札幌で育って、武蔵野の吉祥寺、西久保、三鷹、そして35年前。「おまえのふるさとどこだ。」「座間だよ。」だから是非、皆さんのお知恵、市民の知恵もそうだけど、部長さん、しっかり市長に知恵を出していただいて、素晴らしい、皆さん安心して、俺もう81だからね。今度誕生日が来ると82になる。もう10年ぐらいしかいられないよ。その次の人たちに、いい時代におまえは生きていたな、と思われるような座間市にしていきたい。以上。

【コンサルタント】

ありがとうございました。質問というよりは、応援メッセージだったかと思います。

【参加者】

そうだよ。質問ではないよ。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございます。今、お話の中にもありましたとおり、民生費

が本年度は51.1%ということで、大変一般会計の中でも大きく占めていますし、また、この民生費はどちらかと言えば増加傾向にありますし、今後もそういった傾向に当然あると思っています。なかなか思っても実現できる部分が少ないというところもそのような実感もしています。絶対にやらなくてはならない事業というのもありますので、そういったものを当然やりながら、やはり優先順位を付けていかななくてはならないと思っています。

本年度の予算で申しますと、やはり市内の小中学校の老朽化がかなり進んでいますので、そういったものに対して、子供たちの命を守るという視点で予算を付けさせていただいたことがあります。また、今、障がい者の対応ということもありまして、小中学校にエレベーターを付けなくてはいけないということがありますので、そういったものですか、給食室のエアコンもまだ設置をしていませんでしたので、そういったところなど。また、先程も申しましたが、小中学校の再整備についてコロナで今年は出ていませんでしたので、そういうところを考えていただくような形を取っています。当然それぞれの分野で予算を付けさせていただいているのですが、本年度の大きな特徴というのは、そういったところが大きくあるかなと思っています。

また、今後の座間市の未来を考えると、やはり当然、今住んでいる方たちにも安全安心に住んでいただく、そして健康文化都市と言われるような、健康で長生きができるような生活を送っていただけるような、そういう工夫をしていかななくてはならないとあるのですが、先の座間市の未来を考えたときに、若い方たちにやはり住んでいただきたいという思いもありまして、小児医療費の関係も、システムの改善、改正をするというところの予算を付けさせていただいたのが大きな特徴かと思っています。

いろいろ応援メッセージを頂きましたので、今後も私の考え、また本市の職員は本当に優秀な者ばかりですので、そういった職員の御意見をしっかりと伺いながら、もちろん市民の皆さんの御意見も伺いながら、その中で市民のために、まずどうしていったらいいのかということをしっかりと考えながら進むべく動いていきます。御意見頂きましてありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございました。それでは政策7について、他に御意見などありますか。

【参加者】

締めをしていただいた後に申し訳ないのですが、具体的なところで言ってですね、例えば、座間市の情報がLINEで発信されるようになったのは、非常に良いなと考えています。

1日2日、大体2日に1回ぐらいは情報が来て、これに関しては非常にいいなと思っています。

先程の私の隣の自治会の会長が話されていましたが、かなり自治会の負担としては、やはり高齢化というところですか、役員に対する負担。情報発信、回覧板でまず載せなければいけないか。そういったところもあって、例えばそういった自治会の情報というところに関しても、是非デジタルで。自治会で飛ばすというよりは、もう1本で飛ばしていただければなと思っています。

す。また、出てくる情報というの、座間市議会のところでいくと、例えば警察の情報だとか、あと年に1回出る選挙関係、こういった情報だと思うので、この辺は1箇所から全部まいてしまっていて、どうしてもスマホとかで受け取れないようなところは、地域でカバーしていくというところが、一つ具体的にはできる策なのかなと思っています。

あと、若い世代を取り込むというところにおいては、やはりそういったものがあるかどうか。特に、座間市と海老名市と綾瀬市、どこに住むかというときに、今から考えると海老名市のほうはどんどんやはり発展してきているようなところもあるわけです。ただし、座間市はそういう面ではちょっと横にあるので、車があると非常に便利みたいなところがあったり、海老名に比べると駅の近くに住んでいたりとかですね、そういったところが有利なところだと思っていますので、そういった意味では、いろいろな意味での発信をしていただかないと、座間市の魅力というのは伝わらないと思いますし、市が本当に限られた予算の中で、全てを網羅しなければいけないというところの中で、この政策、たくさん書いていただいているのですが、では、ここの重点的にやっていくというところ、そこが、押さないで結局、玉虫色のものになってしまうのかな、とも思います。先程、市長がおっしゃったように、小学校、中学校の老朽化というところもある中で、そこをしっかりとやるというのは非常にいいと思っていますが、私が中学校を卒業した頃に座間市の体育館だとかその辺りができているところなので、そんなところはどんどん直していけばいいと思うのですが、直すに当たっては、ここがかっこいい、というようなものを作らないと親も来ないでしょうし、子供が喜ばないと思いますので、その特徴あるようなものをやはり出していく。座間市はちょっと違うのだな、というものを出さないと、結局同じかな、と思っているので、それだったら将来的に海老名とか綾瀬と合併したらいいのではないかと、そういうようなこともあるので、是非、座間市を存続させるというところであれば、特徴を出していただきたいなと思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。情報発信のお話というのが市の特徴ということになるかと思います。よろしくをお願いします。

【市長】

貴重な御意見頂きましてありがとうございました。DX化というところで申しますと、本年度やはりもう一つ使われているというところ言えば、このデジタル化の推進というところもあります。そして本市、今御指摘いただきましたが、LINEの友達登録者数、13万2,000人座間市の人口はいるのですが、約7万人以上の友達登録者数になっていますので、こちらの有効活用というのは、今後、公開をして大変様々な展開があると思っています。小中学校のいわゆる出欠のお知らせなどもLINEでできるような形を取っていますし、新型コロナのワクチンもLINEで申し込みができるようなこと、工夫をしてきました。自治会の回覧板で回せるようなも

のに関して、例えばLINEでというのも、もう一つ考えられることかなとは思っています。受け止めさせていただいて、今後どのような形をしていったら良いかということ、自治会の方たちとも話し合いを進めていきたいと思えます。また地域の情報に関して、地域でそういったものを進められるような支援というのも考えていかななくてはならないのかな、ということも思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。政策7について大体こちらで10分ほど経過をしたのですが、よろしければ全体を通して意見を、こちらの部分についてももう少し言いたいということがありましたら、政策1から政策7、振り返りまして御意見のある方、承りたいと思えます。お二方いますが、では、前の方、よろしくお願ひします。

【参加者】

今日はこのような会合を開いていただきありがとうございます。

全てにつながるのだと思うのですけれども、厳しい財政の中でやりくりするのは、本当に家庭とか企業と一緒に大変なことだとは思ひのです。ですから、本当にこれは基本的なことですけど、分かっていることかと思ひますけど、削れるものは削っていただき、増やしていかなければいけないものは増やしていただき、そのためにはどうしたらいいか。例えば、若い世代を呼びたい。今、人口は少しずつ増えているのですよね。それは、若い世代なのですか。駅が発展してきていますけれども、その隣で海老名より家賃が安いとか、そういう好条件もあるみたいで。ですから、本当に子育て世代を座間市に入ってもらいたいとしたら、やはり子育てしやすいまち。それは、佐藤市長も目指すところであると思ひのですけれども、子育てしやすい環境。それは、本当に最優先と言ったらいろいろな団体の方に失礼なのでも、それはまちの発展にも財政の改善とかにもつながっていくと思ひますので、また活性化については私たち商工会議でもあるのですけれども、いろいろな形でやはりもっともっと活性化することを努力していきたいと思ひます。ですから、市と商工会、商店街とか自治会とか、いろいろな団体ももっとコミュニケーション取って盛り上げていけるような、そういう仕組みを何か作って欲しいし、作っていかねばいけないと思ひます。以上です。ありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございました。まちの人口を増やすというか、若い人たちに住んでいただくというための環境づくり、そういうのに対して皆さんで協力をしていきたいというのが御意見だったと思ひますが、いかがでしょうか。

【市長】

御意見頂きましてありがとうございます。本市は、先程も申しましたとおり、人口が微増しています。高齢化も進んでいるというところもありますので、若い方が増えているという、一概にそうとは限らないのですが、微増しているのは確かなことです。ただ、その微増の要因というのは様々な要因が考えられるとは思いますが、環境というかこの場所の位置というものも大きな要因の一つかと思っています。比較的都内からも近く、また横浜等からも比較的通える範囲であって、お話の中にもありましたが、一軒家など購入がしやすいような環境であるということも一つの要因であるかなとも思っています。子育てしやすい環境というのは、これまでLINEのアンケートや、イオンモール座間でのポスターセッションなどでもそういった御意見をかなり頂いています。当然、全ての分野において予算配分というのはしていかななくてはならないのですが、子育てしやすい環境というのを整えていくというのは、本市の今後の市政発展のために重要な課題だと思っています。それから、市と商工会議所展開など、中長期的な大きなまちづくりといった視点での話し合い等というのは、今後しっかり設けていかななくてはならないことだと思っています。御意見頂きましてありがとうございます。

【コンサルタント】

ありがとうございました。では後ろの方、よろしくをお願いします。

【参加者】

相武台に住んでいる〇〇と申します。今、全体を通して思うのですが、子育ての世代から高齢者という形で年代別でいろいろと考えられると思うのですが、義務教育が終わった後から結婚するまでの間の世代、結構その世代についてのことが抜けているというか、全体の魅力あるまちづくりとか、そういうのに関わってくるかと思うのですが、やはりその間の世代に対しての政策というのが抜けているような感じがします。やはり私は座間町で生まれたのでかれこれ長いのですが、やはり自分の年代で考えると、ずっと座間で暮らしてきて、中学校までは義務教育なので座間にいます。高校になると、私なんかの時代は県央学区だったので、あんまり範囲が狭かったのですが、地域のこの座間周辺にいたのですが、今神奈川県全体に子供たちは受験できますよね。そういった意味でも、やはり他を見ると座間に戻ってこないのですよね、そういう人たちは。それで、成人になった時に、戻ってきた時にその話をすると、他のところはいいや、という、あんまり座間の魅力を感じられないところがあるのですよ。私なんかの年代でも、成人式が終わった後でずっと同窓会をやっていたのですが、大体残っているのは農家か自営業の方。あとはもう他の市にほとんど移っているのですよね。それで、住民というか、自宅の周りを見ても、やはり子供はどんどん巣立って親御さんだけ残っているという世帯がすごく多いと思います。だから、やはり子育て世代を厚くするというのは、やはり結婚して子供ができるのでそれに対してというのもありますよね。高齢者になった時には高齢者のその手当があるのですが、やはりその若い世代。特に、成人年齢が今度は20歳から18歳に引き下げられた、というところで、その

辺りの世代に対しての何か政策というか、そういうのがあるのであればちょっとお聞かせいただきたいなと思いますけれども。

【コンサルタント】

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

【市長】

御意見頂きましてありがとうございます。今の御質問の中でもありましたが、義務教育が終わってから結婚して子供を産むまでの間というのは、行政としてもなかなか関わりが薄くなってしまいう時期だと私も認識しています。そのような中で、若いその世代の方たちがまちづくりに参加をしていただくとか、どのように関わっていくかというのは課題だと思っています。本市としましては、これまでも青少年の関係で、青少年の相談ですとか、青少年の様々な事業なども行ってきている経過があります。もしそのような、そういった世代の参加を呼び掛けられるようなものであるとか、何かこういったことが支援として必要なのではないかとといったような御意見がありましたら、また頂ければと思います。

若い方たちも、全ての世代において、困り事や悩み事に対して支援があるというのを、この世代に向けてということになりますと、相談支援などは当然行っています。ですから、何か若い方たちがさらにまちづくりにおいても参加をしていただくようなことであるとか、こういった支援が必要なものがありましたら、また御意見頂けるとありがたいと思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。では、他に全体を通して御意見ある方、挙手をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。特にありませんか。よろしいですか。

それでは、だいぶお時間も経過してきました。意見交換については、これにて終了とさせていただきます。最後に、市長から総括をいただきたいと思っています。よろしく申し上げます。

【市長】

本日は大変お忙しい中、このように大勢の方々にお集まりをいただきまして、また、大変活発な御意見を頂きまして、本当にありがとうございます。本日頂きました御意見、またこれまで頂きました御意見等を踏まえて、またさらに第五次座間市総合計画（ざま未来プラン）を職員と共に創り上げていきたいと思っています。また今後、パブリックコメントを行ったり、市議会に提案をさせていただいたりということを行ってまいりますので、そういったときにも、それぞれの忌憚ない御意見を頂ければと思っています。

これからも、皆さんとともに、この座間市の未来を創り上げていきたいと思っていますし、まちづくりは、市民が主役だと思っています。市民の皆さんが安全安心で楽しく元気に過ごせるま

ちづくりをしていきたいと考えています。本日で、このまちづくり懇談会は終了となります。本当に多くの方々に御参加いただきましたこと、改めて感謝を申し上げまして、最後の挨拶とさせていただきます。本当に今日はありがとうございました。

【コンサルタント】

今日はありがとうございました。それでは進行を市にお返しします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。